

居場所を必要としている人たち から見えること～ひとのまの日常より～

11/30 (日)

開催時間 10:30～11:30
会場 小松市民センター

※民生委員・児童委員及び主任児童委員表彰式及び委嘱状伝達式終了後、引き続き開催します

社会構造やライフスタイルの変化などにより、生活の困りごとや支援を必要とする人とのかかわり方も多様化しています。

この講演では、生きづらさや困りごとを抱えた人たちをサポートする専門家をお招きし、地域で支援を必要とする人の現状と課題、そして地域における人と人とのつながりや支援のあり方について考えます。これからの地域共生社会について一緒に考える機会として、ぜひご参加ください。

定員500名
事前申込不要
参加費不要

キーワード1

生きづらさを
抱えた人への支援

キーワード2

孤独にしない
居場所づくり

キーワード3

様々な人との
コミュニケーション

キーワード4

多様な支援の
あり方

地域で住民の相談に乗ったり支援を行っている人、地域の課題解決の手がかりとしたい人、これから困りごとサポートを始めようと思っている人など、どなたでも大歓迎です！



講師：一般社団法人なかのま 代表理事 宮田 隼氏

富山県高岡市の一軒家で「コミュニティハウスひとのま」を運営し、不登校やひきこもり、障がい、貧困、DVなどに関する相談を受けたり、ひきこもり家庭の家庭訪問や生活困窮者の同行支援などを行う。

「コミュニティハウスひとのま」とは

平成23年から「誰でも来ていいよ」という場所として開かれ、不登校やひきこもり、生活困窮者、刑務所からの出所者、DV被害者など様々な背景を持つ人の「居場所」になっている。